

文化遺産総合活用推進事業 実施計画

1 都道府県・市区町村名	石川県津幡町	2 補助事業の種類	地域文化遺産活性化
3 実施計画の名称	津幡町文化遺産活用事業	【計画の改善時期】 平成 年度	
4 実施計画期間	平成 30 年度 ～ 平成 32 年度		
5 実施計画の概要			
<p>第五次津幡町総合計画（平成28年度策定）の「歴史・文化・伝統の継承と活用」という施策の方針に踏まえ、地域の文化遺産（獅子舞）の技術を次世代に伝承し、それを通して地域の活性化や、地域愛の醸成を育むため、下記の取組みを実施する。実施計画期間中は、下記の取組みを通じて、地域全体で文化遺産を保存・継承し、活用していくための体制の確立を目指す。</p> <p>(1) 地区所在の伝統文化（獅子舞）の継承事業 (2) 地区所在の伝統文化（獅子舞）の後継者育成事業</p>			
6 実施体制			
<p>委員長 津幡町文化財保護審議会会長 副委員長 津幡町教育委員会教育部長 理事 津幡町文化財保護審議委員 津幡町文化財保護審議委員 監査 津幡町教育委員会生涯教育課長 専門委員会会長 郷土芸能研究家 事務局 津幡町教育委員会生涯教育課文化財係長</p>			
7 実施計画における目標と期待される効果		別紙①のとおり	
8 補助事業の概要	(1) 補助金額	～平成29年度交付決定額： 10,355 千円	平成30年度申請額： 1,583 千円
(2) 実施事業の概要		別紙②のとおり	
9 その他計画実施により想定される効果（定性的な効果を記載）			
<p>これまで担い手不足で停滞していた山間部にも用具等の整備が行われることによって、事業が推進されることとなった。また、各地区間の交流も盛んになり、隣接する複数の地域によって合同で獅子舞を披露する機会がつくられるなど、新たな展開が生まれている。また、保育園や小学校への出張講座なども行われており、幼少年層の獅子舞への理解や親近感は大きく増していると思われる。こうした事業は新聞にも報道され、活動が一般にも周知されつつある。こうした若年層への普及活動は、特に他市町からの流入家庭の多い当町にとって有効であり、その親世代に対する理解度の向上にもつながっている。</p>			
10 その他事業（自主財源、民間団体、他省庁等からの補助（支援）を予定している事業など）			
事業概要：	各地区保存会が所属する地区からの協力金を自主財源とする。		
事業概要：			
事業概要：			
11 「歴史文化基本構想」の策定や「歴史的風致維持向上計画」の作成・認定に向けた計画の見込等			
<p>現段階での具体的な策定の予定はないが、調査・研究を進めている所である。</p>			
12 担当部局			
地方公共団体 担当部局課	津幡町教育委員会生涯教育課		

7 実施計画における目標と期待される効果 別紙

目標区分 1 :	伝統文化の継承体制の維持・確立						
評価指標区分 1 :	祭礼行事等の保存会会員数、保存団体数 (具体的な指標は次のとおり)						
具体的な指標 1 :	津幡町全域での祭礼行事等の保存団体数				関連事業:		
目標値 1 :	【現状値】 平成 30 年度 10 団体 ⇒ 【目標値】 平成 32 年度 11 団体						
設定根拠 1 :	現活動団体数に対して、10%の増加を目標に設定。						
進捗状況 1 :	各年度、状況値、目標に対する達成率						
平成	年度	平成	年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度
	団体		団体	10 団体			団体
				0%			
目標区分 2 :	伝統文化の継承体制の維持・確立						
評価指標区分 2 :	祭礼行事等の保存会会員数、保存団体数 (具体的な指標は次のとおり)						
具体的な指標 2 :	次世代の担い手である技術伝承者の数 (習い手)				関連事業:		
目標値 2 :	【現状値】 平成 30 年度 100 人 ⇒ 【目標値】 平成 32 年度 100 人						
設定根拠 2 :	少子化が進む情勢において、現状の人員確保を目標に設定。						
進捗状況 2 :	各年度、状況値、目標に対する達成率						
平成	年度	平成	年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度
	人		人	100 人			人

8 (2) 実施事業の概要 別紙

事業①：	津幡町獅子舞保存事業	実施団体：	津幡町獅子舞保存会		
事業区分：	後継者養成	事業期間：	平成 30 年度 ~ 平成 32 年度		
事業概要：	祭礼行事等を主体的に維持し指導していく保存会会員を、積極的に若い世代を取り込むことにより維持していく。				
評価指標区分：	・保存会会員数の変化（維持）	（具体的な指標は次のとおり）			
具体的な指標：	各地区保存会会員数（伝承者）				
目標値：	【現状値】平成 30 年度 25 人 ⇒ 【目標値】平成 32 年度 35 人				
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率				
平成 年度	平成 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度
人	人	25 人	人	人	人
		0%			
事業②：	津幡町獅子舞保存事業	実施団体：	津幡町獅子舞保存会		
事業区分：	後継者養成	事業期間：	平成 30 年度 ~ 平成 32 年度		
事業概要：	次世代の担い手である子どもたちに獅子舞演舞の型や囃子などを教え、祭礼を長く伝えていく人材を育成するものである				
評価指標区分：	・保存会会員数の変化（維持）	（具体的な指標は次のとおり）			
具体的な指標：	各地区小学校において、獅子舞の周知化を図り全員に認知をしてもらう。				
目標値：	【現状値】平成 29 年度 100 人 ⇒ 【目標値】平成 32 年度 100 人				
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率				
平成 年度	平成 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度
人	人	100 人	人	人	人
事業③：	津幡町獅子舞保存事業	実施団体：	津幡町獅子舞保存会		
事業区分：	用具等整備	事業期間：	平成 30 年度 ~ 平成 32 年度		
事業概要：	獅子舞祭礼によって損耗している用具の整備を行う。				
評価指標区分：	・その他	（具体的な指標は次のとおり）			
具体的な指標：	平成32年までの各地区における主たる用具の整備率。				
目標値：	【現状値】平成 29 年度 80 % ⇒ 【目標値】平成 32 年度 100 %				
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率				
平成 年度	平成 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度
%	%	80 %	%	%	%
		0%			